



〒364-0003 北本市古市場 1-36

TEL/FAX 048-591-5762

携帯 090-8848-8465

Email tatsumi3@gmail.com

URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~oshimatatsumi/>

1965年北本生まれ。

北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。

三国コカ・コーラボトリング(現コカ・コーラボトラーズジャパン)入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務。衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在3期目。



人にやさしく、暮らしやすいまち

安心・安全なまちづくり

財政の健全化

行政改革の推進

令和3年第3回定例会についてご報告します。

令和2年度一般会計

	令和2年度	令和元年度	増減	前年比
歳入決算額	29,042,570千円	21,267,397千円	7,775,173千円	36.6%
歳出決算額	27,852,911千円	20,240,185千円	7,612,726千円	37.6%
歳入歳出差引額	1,189,660千円	1,027,213千円	162,447千円	15.8%
翌年度へ繰越	39,134千円	11,707千円	27,427千円	234.3%
実質収支額	1,150,526千円	1,015,506千円	135,020千円	13.3%

令和2年度一般会計決算は、歳入歳出差引額が11億8,966万円となりました。このうち3,913万円を繰越明許費として翌年度へ繰り越す財源とし、11億5,052万円を決算剰余金として令和3年度に繰り越しました。

令和2年度決算

一般会計の決算額について、歳入は290億4,257万円で前年度と比較して77億7,517万円、36.6%の増となりました。歳出は278億5,291万円で前年度と比較して76億1,272万円、37.6%の増となりました。

歳入、歳出ともに大幅に増額となった要因は、新型コロナウイルス関連によるものです。歳出は73事業で76億5,862万円となりました。主なものとしては、1人につき10万円を給付した特別定額給付金支給業務が66億3,780万円です。他には、GIGAスクール構想の推進として実施した学校ICT環境整備事業3億6,593万円、児童手当を受給する子育て世帯に対し児童1人当たり1万円を上乗せ給付する、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業7,011万円、児童扶養手当受給世帯等に対して1世帯5万円を支給する、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業6,874万円などがあります。

歳入としては、主に国からの補助金となってい

ます。

財政の健全化判断比率

令和2年度の実質公債費比率(年間の借金返済額の割合)は7.4%で、前年度比0.1ポイントの微増(悪化)となりました。早期健全化基準の25.0%を下回っています。

将来負担比率(将来に負担が見込まれる借金の割合)は18.9%で、前年度比8.2ポイント減少(改善)しました。こちらも早期健全化基準の35.0%を下回っています。

今議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、日程が大幅に変更されました。

私は代表者会議において、議会の役割を果たすためにも感染対策を徹底したうえで、一般質問や委員会を通常通り行うことを主張しましたが、結果的に実施されないことになりました。

決算の認定については閉会中に委員会を開催し、12月議会において委員長報告、採決が行われる予定です。

大島たつみの総括質疑より（抜粋）

ふるさと納税

（問）ふるさと納税の状況は。

（答）令和2年度のふるさと納税寄付金額の状況は、件数が3,908件、金額が6億8万8,310円でした。前年度と比べて件数が1,907件の増加、金額が3億5,223万9,310円の増加となりました。

（問）経費については。

（答）返礼品および送料にかかった費用が1億7,784万6,501円、ふるさと納税ポータルサイトの委託料等が5,436万1,094円、返礼品事業者の発掘や返礼品拡充につなげるコンサルティング業務委託料が162万6,680円、PR業務委託料が1,000万円、楽器寄附委託料が34万1,000円、ふるさと納税型クラウドファンディング補助金が290万4,277円で、諸経費の合計は2億4,707万9,552円です。

（問）実質的な収益は。

（答）ふるさと納税収入額の6億8万8,310円から諸経費の2億4,707万9,552円を引いた金額は3億5,300万8,758円となります。そこから令和2年度に市民が他の市町村へふるさと納税した寄附金の税額控除額9,146万935円を引くと、実質的な収益は2億6,154万7,823円となります。前年度との比較では1億6,395万1,376円の増加となりました。

（問）返礼品の状況は。

（答）高級オーダースーツ仕立券補助の寄付額が5億7,474万円で寄附額全体の約96.5%を占めています。その他の返礼品としては、グリコの詰め合わせや洋菓子店のクッキー、北本トマトカレー、七宝焼き、人間ドッグなどが人気です。

（問）寄付金額が伸びた要因は。

（答）大きく三つあります。一つ目は、寄附の窓口となるポータルサイトを増やしたこと。二つ目は、事業者向けの説明会や新規返礼品の事業者発掘や返礼品の拡充を行ったこと。三つ目は、新聞折込やLINEによる情報発信を行ったことによります。

総務省が発表した全国自治体のふるさと納税「令和2年度受入額の実績等」の結果において、北本市が埼玉県内で1位となりました。歳入に大きく貢献し、寄附していただいた方の思いを市政に反映できたものと思います。ただし、特定の返礼品に依存している状態であり、さらなる取り組みが求められます。

実質収支比率

（問）9.0%と前年度と比べて1ポイント上昇しているが。

（答）令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不確実な要素が多かったため、結果的に不用額が増え、剰余金も多く発生してしまいました。今後も引き続き事業の執行を適切に管理すると共に、個別の事業の状況を踏まえ事業を精査し、健全な財政運営に努めます。

実質収支は、歳入から歳出を引いた額から更に翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額のことです。実質収支比率は、標準財政規模に対する実質収支の割合で3~5%が望ましいとされています。

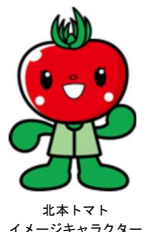


総括質疑の録画配信は、
こちらからご覧いただけます。

【あとがき】

次回の令和3年第4回定例会は、
11月30日（火）から12月21日（火）の予定です。

今後も皆様のご意見・ご相談など
お寄せいただけましたら幸いです。



北本トマト
イメージキャラクター